

海浜の自然環境を守る会ニュース

第62号 2020年3月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

浜甲子園海域のカモ類について

日本野鳥の会ひょうご 杉田義彦

クロガモが甲子園浜に

この冬甲子園浜にクロガモとビロードキンクロが来た。あらためて甲子園浜のカモ類について考察してみよう。

海、河川、湖沼などの水域に棲息するカモ類は世界で144種、日本国内での確認は35種だが、渡りを含めて国内で普通



に見られるのは20種である。後の15種は何らかの理由で迷い込んで来た（迷鳥＝珍鳥）である。

地理的に南北に延びる日本列島は、沖縄～北海道の間で気候分布が違い（亜熱帯～準亜寒帯）特に冬季での気温差が生じ、それ故に越冬の為に渡来するカモ類の種類に、地理的な違いが生じる。

東北、北海道の寒冷水域に普通に見られるクロガモやビロードキンクロが、温暖な西日本（大阪湾、瀬戸内海）に渡来するのは非常にめずらしい。

浜甲子園に1995年？から2005年の約10年間、何らかの不具合で飛べなくなった、クロガモの1羽が約10年もの間、滞在した。（最後は行方不明）

浜甲子園海域で見られるカモ類

浜甲子園海域で毎年冬季に渡来するカモ類は次の10種＋1（カルガモ）である。

1)ホシハジロ 2)スズガモ 3)キンクロハジロ 4)ホオジロガモ 5)ヒドリガモ 6)コガモ 7)オナガガモ 8)ハシビロガモ 9)オカヨシガモ 10)マガモ 11)カルガモ（留鳥）

採餌方法に注目して

これらのカモ類を更に棲息環境から分類すると（淡水ガモ）と（海ガモ）に分類される事もあるが、淡水ガモの代表的なオナガガモやヒドリガモなどは、海岸という浜甲子園海域に普通に多く見られる事から、採餌という生活様式での分類とすれば次のようになる。

ハジロ属（潜水採餌＝海ガモ）、マガモ属（水面採餌＝淡水ガモ）とする。

結果、浜甲子園海域では、1)ホシハジロ～4)ホオジロガモまでのハジロ属が4種、以下5)ヒドリガモ～11)カルガモの7種がマガモ属となり、浅い沿岸部に棲息するマガモ属が多く見られる特徴がある。

但し、種類別ではハジロ属のホシハジロが毎年、1000羽以上渡来し、数的には他を圧倒している。

採餌方法の違いを観察するのもまた楽しいだろう。

他に大阪湾という海域では珍しいカモ類も記録されている。

(1)トモエガモ(2007/1/13) (2)ツクシガモ(2002/12/16) (3)シマアジ(2008/5/2) (4)オシドリ(2008/11/27)などがある。

浜甲子園海域は国内でも貴重な保護区

浜甲子園海域（海岸）は東西に僅か1km＋しか無い狭い海岸であるが、毎年、渡来するカモ類10種＋、総数1500～2000羽、このデータからも、世界的に見ても、日本国内でも稀に見る渡り鳥達の好環境であるのは間違いなく、今後も保護維持して行く事が必要である。

国指定浜甲子園鳥獣保護区干潟再生事業・潜堤築造工事で終了

2010年度より進められてきた国指定浜甲子園鳥獣保護区の干潟再生事業は、2018年度、大規模な土砂投入が行われ、造成干潟ができあがりました。2019年度末までに造成干潟沖側にある潜堤を東側に伸ばし閉鎖します。干潟への波浪の影響を小さくして、地形が安定するように行うものです。これによって環境省の干潟再生事業の工事は終了となります。

2020年2月29日工事の様子

環境省は、造成干潟の現状について、水質状況、鳥類の飛来状況、現地調査による地形把握、底質調査、底生動物調査、環境DNA調査の結果を、2月17日実施の有識者と地元関係者による事業検討会で報告いたしました。

今後は、現状の課題を把握し、シギ・チドリ類の餌生物増加を目指し、造成干潟の生物多様性を高めるために、地域住民関係機関が連携して取り組んでいかなければなりません。



EWC 展で西宮自然保護協会賞を受賞

西宮市主催 Earth Watching Club nishinomiya 環境パネル展が2月19日から23日まで西宮市立市民ギャラリーで行われ、NPO 法人海浜の自然環境を守る会向山裕子さんが、西宮自然保護協会賞を受賞しました。

「甲子園浜の生き物たち」と題した作品は、模造



紙4枚が、甲子園浜で出会ったトゲノコギリガザミ、ムラサキガイ、たくさんのクラゲたちの写真で埋め尽くされ迫力満点。クラゲの多くは顕微鏡を使っての渾身の撮影です。

これからも甲子園浜でたくさんいいもの見つけてください。

甲子園浜自然環境センター休館

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大のリスクが高まっていることから、西宮市立甲子園浜自然環境センターは、3月2日（月）より休館しています。事態の収束が確認されてから運営を再開する予定ですので、開館時期は未定です。

活動報告

1月20日 理事会

1月22日 鳥獣保護区保全ワーキング・意見聴取会

2月8日 冬の鳥観察会 41名



2月17日 浜甲子園鳥獣保護区保全事業検討会

2月23日 EWC パネル展表彰式

活動予定

3月29日（日）海浜清掃

4月1日～5月31日 浜甲子園鳥獣保護区立入禁止

5月6日（水）通常総会、シギ・チドリ観察会

5月10日（日）甲子園浜遺跡探検

5月31日（日）海浜清掃

6月6日（土）第13回大阪湾生き物一斉調査



2月22日ごろから1週間ほど、浜甲子園運動公園東側に、ヒレンジャクの群れ、30数羽。